

清水義也能の会



令和6年5月6日 月 休

14:00 開演 (13:30 開場)

於 宝生能楽堂

〒113-0033 東京都文京区本郷1-5-9 ☎ 03-3811-4843

JR水道橋駅東口より徒歩3分

地下鉄都営三田線A1出口より徒歩1分

※駐車場、駐輪場はございません。近隣のコインパーキングや公共交通機関をご利用ください。



清水義也能の会

令和六年五月六日(月・休)
 十四時開演(十三時半開場)
 於 宝生能楽堂

解説

高橋 悠介 (慶應義塾大学教授)

舞囃子

高

砂

清水 義久

大鼓 佃 良太郎 太鼓
 小鼓 鶴澤洋太郎 笛

梶谷 英樹
 松田 弘之

地謡

杉浦悠一朗
 井上裕之真

木月 宣行
 角 幸二郎
 坂口 貴信

仕舞

雨

月

観世 恭秀

地謡

久田 勤吉郎
 坂口 貴信
 角 幸二郎
 関根 祥丸

玉

之

観世 清和

邯

段

観世 三郎太

(休憩 十五分)

能

井

筒

シテ 清水 義也

ワキ 福王 和幸

大鼓 國川 純
 小鼓 鶴澤洋太郎 笛

松田 弘之

アイ 野村太一郎

後見

上田 公威
 観世 恭秀

地謡

杉浦悠一朗
 久田 勤吉郎
 井上裕之真
 関根 祥丸
 観世 三郎太
 角 幸二郎
 観世 清和
 坂口 貴信

附祝言

(終演 十七時頃)

能 井 筒 いづつ

諸国一見の僧(ワキ)がたま
 たま立ち寄った在原寺は、昔、
 在原業平と妻が共に過ごした地
 でした。僧の前に現れたこの里
 の女(前シテ)は業平と妻の物
 語をし、自分がその妻の霊であ
 ると言って消えます。

僧が転寝をしていると、その
 夢に妻の霊(後シテ)が業平の
 形見の衣を着て現れ、業平との
 日々を懐かしみ、再び消えてい
 きました。

夫婦の愛の物語を妻の視点か
 ら描いた世阿弥の代表作です。

清水義也 しみず よしなり



昭和四十八年横浜市生まれ。
 二十六世観世宗家観世清和師に
 師事。

五歳にて初舞台。東京芸術大学
 音楽学部邦楽科卒業。同大学の
 非常勤講師を勤める。重要無形
 文化財総合指定保持者。

清水義也能の会、澄声会を主宰。
 海外公演を含め、多数の能公演
 に出演。愛好家、学校などへの
 普及を積極的に行う。

チケット一般発売開始 令和6年3月1日(金)

▶ チケット料金

- S席 10,000円
- A席 8,000円
- B席 6,000円
- C席 4,000円

(全席指定・税込)

＜お申し込み・お問い合わせ＞

▶ 清水義也公式サイト
<https://choseikai.net/>



チケットお申込
 専用フォーム

▶ 清水義也能の会

yoshinari.shimizu@gmail.com

☎ 090-3535-6998

FAX 045-841-6516

※上演中の許可のない録音、録画、
 写真撮影はお断りいたします。
 ※客席内では携帯電話・スマート
 フォンの電源はお切りいただき、ご使
 用にならないようお願いいたします。

